

うきは市 地域住民説明会 大石地区

日時：9月25日（木） 19時～20時

場所：大石コミュニティセンター

参加者：21人

事務局：うきは市教育委員会（樋口教育長、江藤課長、坂本指導主事、熊懐係長、井上係員）

福山C（山本、山下）

■質疑応答

- 今後の人口減少を抑制する施策をもっと考えてほしい。
→市全体で様々な対策は講じているが、更なる対策については持ち帰って検討していきたい。
- 廃校後の活用については地域としては興味があるため方針を早めに議論して決めていきたい。維持費等も相当かかると考えられるため学校再編と並行して検討してほしい。
→地域が廃れず活性化が図れるような方策が必要であるとともに、学校教育課だけではなく市全体の各部署と連携した対策が必要と考えている。持ち帰って今後検討していきたい。
- 統廃合はやむを得ない状況だとは思うが、折角新たな学校を整備するのであれば人口減少の抑制が図られるような施設にして、子育てしやすい環境を作りたい。
→魅力ある学校を浮羽町域に作り、地域の核として、定住・移住、活性化に繋げていきたいと考えている。
- 現在は小学校の横に自治協議会があるため、行事等を通じて、地域と学校、生徒たちが関わりやすくなっているが、小中一貫校になると自治協議会の活動が衰退する事を心配している。子供の教育環境が最優先ではあるが、自治協議会としては子ども達と関われる場面を作りたい。
→自治協議会は学校行事等にも積極的に関わっていただきたい、うきは市の良さでもあると考えて、物理的に離れてしまい、課題も出てくると思うが、地域の伝統行事は継続して行えるような方策を検討していきたい。
- 吉井町域の児童・生徒数の傾向はどうなっているのか。
→千年小学校や福富小学校は、以前増加傾向にあったが現在はほぼ横ばいで、吉井小学校と江南小学校は減少傾向にある。今後も減少傾向は続くものと想定され、吉井町域でも将来的には統廃合の話が出てくる可能性はあるが、現時点では検討は行っていない。
- 義務教育学校と小中一貫校のどちらを目指しているか。
→現時点では施設一体型の学校施設での小中一貫教育を方向性としているが、義務教育学校か、小中一貫校かについては、各々のメリット・デメリットを踏まえて慎重に検討していきたいと考えている。
- 魅力ある学校とは具体的にどのようなイメージのものか。
→魅力としては大きく2点を考えており、1点目は子ども達の元気で充実した姿が見られるという魅力、2点目は伝統行事や総合学習等を通じて地域とも繋がりを持てる学習環境の下で様々な事を学べるという魅力であり、こうした魅力や特色のある教育環境を作りたい。

- ・ 観察に行った義務教育学校（香春思永館）について、生徒会活動はどのように行われているか。
→生徒会活動は把握できていないが PTA は一体で運営されている。特色ある仕組みとしては、義務教育学校は小中学校の区別が無いため卒業式の代わりに修了式という形式をとっている点、9年間を前期・後期と区分されている点等が挙げられる。また、前期の子どもたち（小学生）も中学校の専門科目を教わることができる点や、小学6年生から部活動の体験ができる点等、教育面でもメリットがある。

以上